



今学期で帰国する友人達とのホームパーティー



放課後に友人達と訪れたニースのビーチ

はじめに

最終プレゼンテーションを終え、周囲に安堵の表情が広がる中、交換留学生仲間との別れの時期を迎えました。学期当初の初々しい関係は、今や何でも相談し合える深い信頼関係へと発展しています。振り返れば、長いようで短い半年間を過ごしてきたのだと改めて実感しました。共に困難を乗り越えた友人たちとの別れは、想像以上に感慨深いものでした。

仲間たちとの別れ

友人たちとの最後の時間は非常に早く過ぎ去り、記憶に強く刻まれるものとなりました。帰国する友人2人の送別会として、自分たちの居住スペースで食事会を企画しました。手作りの日本食を振る舞い、半年間の思い出や将来の展望について夜遅くまで語り合いました。政治や文化の違いといった、私たちらしい深い議論や何気ない会話を最後まで楽しみ、有意義な時間を共有することができました。

友人が一人、また一人とフランスを去った後は、大きな喪失感を覚えました。しかし、残されたのは悲しみだけではなく、共に築き上げた数多くの思い出です。次学期から迎える新しい交換留学生との出会いに期待を寄せつつ、これまでの絆も大切に維持していきたいと考えています。

ミモザフェスティバル

南仏ニース周辺の著名な行事として「ニース・カーニバル」と並び称される「ミモザフェスティバル」に、友人たちと参加しました。会場では、ミモザを用いた様々な飲食物や、趣向を凝らしたユニークな山車のパレードを堪能しました。特にダンサー達による情熱的なサンバや、地元の吹奏楽バンドによるマーチの演奏は活気に満ちており、非常に愉快的な雰囲気でした。人生で初めて「カーニバル」という文化を肌で感じることができ、現地の伝統を理解する上で極めて貴重な経験となりました。



友人達と訪れたミモザ祭り

新学期前のホリデー

今期の休暇は、友人2人と共にハンガリーのブダペストへ1週間の旅行に赴きました。2週間の休暇のうち、前半は帰国する友人との送別、後半はブダペスト旅行という充実したスケジュールとなりました。

ブダペストは、フランスと比較して非常に物価が低く、特に食費に関してはニースの約半分程度という印象を受けました。これから留学を検討しており、欧州内を周遊したいと考えている方には、ぜひ候補に入れてほしい都市です。ミラノやローマといったフランスからアクセスの良いイタリアの人気都市も魅力的ですが、南欧とは異なる独特の食文化や街の雰囲気を手軽に楽しめる点は、ハンガリーならではの利点です。

ハンガリーの食についてですが、ハンガリー料理は今まで旅をしたヨーロッパ諸国の中でもかなり上位に入るほど美味しかったです。しかし1週間のうち毎食ハンガリー料理を食べていたという訳ではありません。ハンガリーでもアジア料理や他のヨーロッパ諸国の料理などバリエーションに富んだ食を楽しむことができました。実際に私たちも、1週間のうち3日ほどはアジアレストランで食事をしました。

休暇の活用方法は人それぞれですが、長期休暇を利用して少し遠方へ足を伸ばすことは、多くの刺激を受け、自分のインスピレーションストックを貯める絶好の機会になります。一方で、数週間に一度ある金曜日の空き時間は、近隣のイタリアやフランス国内の小旅行に充てるなど、休みの長さに応じて行き先を使い分けるのが効率的だと感じました。



聖イシュトヴァーン大聖堂の頂上からの景色



ハンガリー：ドナウ川遊歩道の靴

始まった2学期目

第2セメスターは「ブーツキャンプ」から始まりました。今回は「アップサイクル・ランプ」の製作に挑戦しました。1週間という短期間で、コンセプトの立案からモックアップ作成、そして実際に点灯するランプの完成まで漕ぎ着けなければならず、非常にタイトなスケジュールでした。

しかし、チームで取り組むグループワークであったため、メンバー間で作業を分担し、協力して最終プレゼンテーションまで進めることができました。発表では、自分たちのコンセプトや製作過程で得た学びを伝え、特別講師の方からも高い評価をいただくことができ、非常に達成感のある1週間となりました。また、今学期から加わった新しい留学生とも交流を深めることができ、留學生活の「第二章」が始まる期待に胸を膨らませています。

終わりに

今月は別れと出会い、そして新たな学びが凝縮された1ヶ月となりました。来月も引き続き、現地の授業や生活を通じて得た経験を詳しく報告する予定ですので、楽しみにしててください。



ブーツキャンプで作ったアップサイクルランプ発表の様子